

久貝自治会・松原自治会

集落
部門

久松五勇士の心意気を今に伝えるふるさとづくり (平成26年度認定)



久貝と松原は隣接した自治会で、旧平良市の南西部に位置している。農業はさとうきびや野菜・果樹等の施設園芸が行われている。漁業は、もずくや海ぶどうの養殖、近海漁業が行われている。古来より営農意欲が高い地域であり、昭和に入ってからには県営・団体営の土地改良事業に取り組み、現在は県営松原地区を初めとする4地区が進捗中である。

両自治会の大きな行事としては、共同で開催している旧暦5月の海神祭である。海神祭では、海上安全、豊漁祈願、魔除けとして古くから伝わる獅子舞や奉納相撲等を行い、島外から帰省した郷友とともに祝っている。海神祭の目玉は「御願ハーリー」と青年会によって演じられる獅子舞で、久貝・松原がそれぞれ2頭の獅子を擁し勇壮で活気あふれる演舞を行う。

また、人頭税廃止100周年を記念して行われるようになった宮古島の代表的イベント「クイチャーフェスティバル」において「野崎(=久松)クイチャー」を披露している。クイチャーは古来より宮古地域に伝わる円陣舞踏で「野崎クイチャー」は明応9年(西暦1500年)首里城御庭において国王拝謁の際に演じられたとも言われ、最も長い歴史を誇る。

また、日露戦争時にバルチック艦隊の情報を携えて石垣島までサバニを漕いだ「久松五勇士」の里としても知られている。地元小中学校では五勇士にちなんだ舞踊に取組んだり、海神祭のハーリーに参加して地域の歴史を学んでいる。農漁業が盛んで団結力があり、次世代へ伝統文化の継承が行われている地域である。集落の繁栄を願い、両地域が協力して活動していることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



「野崎クイチャー」
(クイチャーフェスティバル)



中学生による久松五勇士の演舞
(海神祭)



久松五勇士航跡再現(1985年)
久松～伊原間を19時間半で漕破



中学生ハーリー競争(海神祭)



獅子舞演舞(海神祭)



御願ハーリー(海神祭)